

第 1 回佐賀県総合運動場等整備基本計画検討委員会議事要旨と対応について

テーマ	主な意見	対応
県有スポーツ施設のあり方	佐賀県の場合は国体を控えており、施設を考える大きなチャンスである。ただし、 <u>今回の整備は国体のためではなく、国体後のことをしっかりと考えておかなければならない。</u>	○施設整備にあたっては、平成 35 年に開催される国民体育大会・全国障害者スポーツ大会のための整備はもちろんのこと、 <u>大会終了後も広く親しまれ、利用されるような施設を検討する。</u> <基本理念として整理を行う>
	<p>市町の施設より大きいだけが県の施設ではないはずである。 <u>JリーグやVリーグなどのプロの試合や国内トップレベルの試合を快適な環境で観戦でき（『観る』スポーツに対応した）、また、みんながあそこで試合をやりたいと思うような県の施設でしかできないことをやるべきである。</u></p> <p>今回の整備を考える際のキーワードになるのは、『スケールメリット（規模を大きくすることにより得られる効果や利益）』と『プロフィットセンター（利益を生み出す部門）』と考えている。佐賀県には久光のバレーボール、サガン鳥栖のサッカー、将来的にはバスケットボールチームなどが考えられる。<u>うまくやれば、プロフィットセンターができるようになる。</u></p>	○『 <u>する</u> 』スポーツだけではなく、『 <u>観る</u> 』スポーツにも対応する <u>ような施設を検討する</u> <整備方針として整理を行う>
	スポーツだけでなく、 <u>スポーツを活かしてどう街を活性化していくのか考える必要がある。</u>	○まちづくり等の関連計画との調整を図る。
	『 <u>観る</u> 』スポーツに加え、 <u>子どもたちがわくわくするような、スポーツをやらない子どもでも日常的に楽しめるような遊びの場がある施設を作って欲しい。</u>	○スポーツをする、しないに関わらず、 <u>施設を訪れた人が楽しみ、行きたくなるような施設を検討する</u> <整備方針として整理を行う>
	大規模な災害が起こった時の防災拠点となるような施設を考えてもらえると安心できる。	○施設の整備に合わせ、 <u>防災拠点として必要な機能の整備を検討する</u> <整備方針として整理を行う>

テーマ	主な意見	対応
ターゲット	<p>誰をターゲットにした施設を作るのかを明確に決めておかなければ、使いやすい施設ができない。</p> <p>県民の人が楽しみながらスポーツを行うような『する』スポーツを考えるのか、プロの試合やトップアスリーの競技などを観戦するような『観る』スポーツを考えるのかを施設ごとにきちんと決めておく必要がある。</p> <p>県民の健康増進のための施設なのか、人を集めてお金を落としてもらうための施設なのかで整備する施設が違ってくる。</p>	<p>○『する』スポーツだけではなく、<u>『観る』スポーツにも対応するような施設を検討する</u>＜整備方針として整理を行う＞</p> <p>○対応する大会規模等については整理を行う。</p>
整備エリア	<p>国内のトッププレーヤーにとって使いやすい場所なのか、県内の利用者にとって使いやすい場所なのかをしっかりと考える必要がある。</p> <p><u>ナショナルトレセンのような育成の場であればどこに作ってもよいが、『観る』スポーツや県民が利用する『する』スポーツを考えるのであれば、交通アクセス、商業圏などをしっかりと考える必要がある。</u></p> <p>佐賀県の中でどこに施設があれば一番県民が集まりやすいのかを考えれば、場所は自ずと決まってくる。</p> <p>色々な運動施設が集まったエリアは佐賀県内には他にない。<u>佐賀県の選手にとっては一番の施設であり、場所である</u>と思っている。</p> <p><u>現在の総合運動場・総合体育館のエリアはアクセスも良く、このままの場所がいいと思う。</u></p>	<p>○<u>県下全域からのアクセスはもちろん、空港や駅、高速道路などの交通機関に近いことから、県外からのアクセスもよい。また、ホテルや総合病院に近いなど、様々な施設がコンパクトにまとまっているという特徴を活かすためにも、現在の総合運動場・総合体育館のエリアで施設の整備を行うこととする。</u></p>

テーマ	主な意見	対応
整備内容	<p>体育館を使用する競技団体からは、<u>ぜひ全国規模の大会などが行えるような新しいアリーナを建設してもらいたいという要望が出ている。</u></p> <p>総合体育館は2,000席程度の観客席しかないが、久光さんがバレーの試合をする場合、観客席数の問題や、選手の動線の問題、諸室の問題、収納の問題がある。 <u>『観る』スポーツに対応した施設を考えると、総合体育館では難しいので、新設アリーナの検討が必要と考える。</u></p>	<p>○<u>利用者の声、競技団体の意向、需用見込みなどを踏まえながら、『する』スポーツだけでなく、『観る』スポーツにも対応できるようなアリーナ整備の検討を行う。</u><整備計画として整理する></p>
	<p>総合体育館は育成の場としては素晴らしい施設であるが、『観る』施設としては十分ではない。</p>	<p>○アリーナの検討と合わせ、体育館の役割を整理した上で、総合体育館に必要な改修の検討を行う。<整備計画として整理する></p>
	<p>陸上競技場も体育館同様にほとんど諸室がないなどの問題がある。この機会に改修をしてもらいたいという要望が出ている。</p>	<p>○開催する大会や施設基準などを整理した上で、競技場整備の検討を行う<整備計画として整理する></p>
	<p>全国障害者スポーツ大会は10月に開催されるので、50mプールは屋内にすることが必要になる。また、屋内にすることで年中練習が出来て、競技力の向上が図れる。</p>	<p>○開催する大会や整備基準などを整理した上で、50mプール整備の検討を行う<整備計画として整理する></p>
	<p>ボクシング場・フェンシング場、エアライフル射撃場はどこに施設があるのかわからないといった声を聞く。どこで競技がやられているのかわかるような場所に作って欲しい。</p>	<p>○整備の必要性などを整理した上で、必要に応じて整備を行う。</p>
	<p>未普及競技のトレーニングができる施設も考えて欲しい。</p>	<p>○新設の施設については、その必要性などを整理した上で、必要に応じて整備を行う。</p>
	<p>駐車場は、『する』人だけを想定した数で設計されていて、『観る』人のことまで考えた数になっていない。</p>	<p>○必要な駐車場数等について、他施設の状況などを参考に必要数の検討を行う。</p>

テーマ	主な意見	対応
整備内容	<p>高速道路を利用して北から総合運動場に行く場合に右折ができない。</p>	<p>○施設の出入口、車の動線について検討を行う。</p>
	<p>総合運動場は大雨が降った時に冠水している。防災の拠点として考えるのであれば、その対策が必要になる。</p>	<p>○陸上競技場の冠水対策等について検討を行う。</p>
	<p>収益のことを考えると、施設の中にカフェやレストランを作ったり、駐車場を有料化するなどの方法がある。その収益を利用者に別の形で還元する仕組みも考えることができる。</p> <p>アリーナでもスタジアムでも、バスケットやサッカーを好きな人ばかりだけで埋めるのは難しい。好きでない人をどう呼び込むかの仕掛けが、儲かる施設かどうかになってくる。そのためには人を<u>引き付けるものが必要になる。</u></p>	<p>○<u>海外のスタジアムのように、試合のある日は大勢の人が集まり、家族や友人と弁当を広げてランチを楽しんだり、昔活躍した選手のモニュメントの前でその栄光時代の話をしたりと、スポーツを楽しむ文化を育み、その中核を担うことができるような魅力ある施設やその施設の担い手などの検討を行う。</u></p>
	<p>シドニーやロンドンのオリンピック会場は大会終了後に観客席を撤去している。国体のためだけに施設を整備するのではなく、国体終了後は陸上競技場がサッカー専用スタジアムになるように考えてもいいのではないか。</p>	<p>○国民体育大会・全国障害者スポーツ大会後の利用を考えた施設整備を行う。＜基本理念として整理する＞</p>
	<p>陸上競技場バックスタンドの改修する計画も考えられるが、サブトラックとの距離やVIPのセキュリティ、選手と観客の動線などを考えると今のメインスタンドを活用する方がいいのではないかと。</p>	<p>○陸上競技場の改修については、サブトラックからの専用通路の整備やVIPのセキュリティ、選手や観客などの対策を講じるなどの検討を行う。</p>